



平成30年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月2日

上場会社名 株式会社地域新聞社 上場取引所 東
 コード番号 2164 URL http://www.chiikinews.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近間 之文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 三島 崇史 TEL 047-420-0303
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第3四半期の連結業績（平成29年9月1日～平成30年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第3四半期	3,091	3.4	25	—	26	—	11	—
29年8月期第3四半期	2,989	3.4	△116	—	△115	—	△111	—

(注) 包括利益 30年8月期第3四半期 11百万円 (—%) 29年8月期第3四半期 △111百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第3四半期	5.96	—
29年8月期第3四半期	△60.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第3四半期	1,560	447	28.7
29年8月期	1,618	439	27.2

(参考) 自己資本 30年8月期第3四半期 447百万円 29年8月期 439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
30年8月期	—	0.00	—		
30年8月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年8月期の連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,279	8.2	4	—	5	—	△17	—	△9.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 除外 ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期3Q	1,843,800株	29年8月期	1,843,800株
② 期末自己株式数	30年8月期3Q	180株	29年8月期	180株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期3Q	1,843,620株	29年8月期3Q	1,843,620株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益、雇用・所得環境の着実な改善が見られ、緩やかな回復基調を続けております。また、個人消費についても、海外経済や金融資本市場の先行きが不透明な中、緩やかな持ち直しの動きが続きまして。しかし、米国政権の不安定な政策運営や地政学リスクの高まりなど、景気の下振れリスクに注意が必要な不透明な状態が続いております。

当社グループの属するフリーペーパー・フリーマガジン市場は、媒体及びターゲットの多様化が進んでおりますが、紙媒体だけでなくインターネット広告との価格競争が恒常化するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。このような状況の下、当社グループの基盤事業である新聞等発行事業は、平成30年5月末現在で、1都4県73エリアで73版を発行、週間の発行部数は約297万部となりました。

新聞等発行事業における地域新聞社の施策といたしましては、営業活動の質を高める施策として、平成28年9月より設置した効果向上支援室にて広告効果の事例を集積し、研修等で広告作成技術を高める取組を実施しております。また、平成29年11月よりスタートした、読者向けに特化したサイト「ちいき新聞web」は順調にPV数を伸ばしており、ちいき新聞紙面とWEBサイト「チイコミ」を繋ぐ役割として機能しております。更に、平成29年3月よりスタートした求人媒体「Happiness」は近隣の働き手を求める広告主と近隣の仕事を求める求職者の需要をとらえ、平成30年5月末現在、11エリア107万部を発行するまでに拡大しております。

ショッパー社の施策としましては、「地域新聞ショッパー」をより地域に密着した媒体へと進化発展させていくためにface to face営業の強化と中途採用の営業社員の育成に力を入れております。また、採算性についても注視し、経営資源を効率的に活用してまいりました。

折込チラシ配布事業におきましては、地域新聞社だけでなくショッパー社においても、それぞれの地域にカスタマイズされた独自の地図情報システム(GIS)を活用することにより、広告主の顧客ターゲットが明確となり、効率的かつ広告効果の最大化を図るサービスを実現することができました。

その他事業につきましては、WEB事業部にて行っているホームページ制作業務が、手頃な価格で自社のホームページを作成したい、地場の顧客の需要をとらえ拡大しております。また、平成29年10月には地域新聞社主催による大相撲巡業（大相撲八千代場所）を実施し、地域の方に喜んでいただけただけでなく、イベント事業を行う貴重な経験となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、ホームページ制作等のWEB関連と求人媒体「Happiness」の好調により3,091,082千円（前年同期比3.4%増）と増加し、経常利益は26,387千円（前年同期は経常損失115,236千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,002千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失111,932千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

A. 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ58,255千円減少し1,560,246千円となりました。これは、主に売掛金が39,294千円増加しましたが、流動資産のその他に含まれている短期繰延税金資産が14,231千円減少したほか、現金及び預金が81,466千円減少したことによりです。

B. 負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ150,849千円減少し641,633千円となりました。これは、未払金が41,072千円増加したほか、1年内返済予定の長期借入金が39,984千円増加しましたが、短期借入金が100,000千円減少したほか、その他に含まれている未払費用が92,746千円、前受金が42,274千円減少したことによりです。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ85,278千円増加し471,364千円となりました。これは、主にその他に含まれている長期リース債務が12,935千円減少しましたが、長期借入金が101,688千円増加したことによりです。

C. 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7,314千円増加し447,248千円となりました。これは、配当金の支払いにより3,687千円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益11,002千円を計上したことによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成29年10月10日に「平成29年8月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。今後の経済情勢及び業績の推移により、通期の見通しについて見直しが必要になった場合には速やかに開示致します。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	816,176	734,710
売掛金	408,299	447,594
商品及び製品	1,122	151
配布品	13,532	12,240
仕掛品	9,515	9,086
貯蔵品	1,084	1,559
その他	61,718	48,705
貸倒引当金	△3,900	△2,200
流動資産合計	1,307,550	1,251,848
固定資産		
有形固定資産	78,853	71,850
無形固定資産	50,707	51,582
投資その他の資産		
その他	183,691	187,876
貸倒引当金	△2,300	△2,911
投資その他の資産合計	181,391	184,964
固定資産合計	310,951	308,398
資産合計	1,618,502	1,560,246
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,909	154,517
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	40,008	79,992
未払金	255,248	296,320
未払法人税等	7,160	3,712
賞与引当金	2,298	15,086
ポイント引当金	1,100	900
返品調整引当金	5,620	2,840
移転損失引当金	1,477	—
資産除去債務	2,310	—
その他	217,350	88,264
流動負債合計	792,483	641,633
固定負債		
長期借入金	143,322	245,010
退職給付に係る負債	169,840	168,094
資産除去債務	17,865	17,958
その他	55,058	40,301
固定負債合計	386,085	471,364
負債合計	1,178,569	1,112,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	203,112	203,112
資本剰余金	133,112	133,112
利益剰余金	103,775	111,090
自己株式	△67	△67
株主資本合計	439,933	447,248
純資産合計	439,933	447,248
負債純資産合計	1,618,502	1,560,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)
売上高	2,989,747	3,091,082
売上原価	901,146	877,219
売上総利益	2,088,600	2,213,863
返品調整引当金戻入額	2,090	5,620
返品調整引当金繰入額	4,340	2,840
差引売上総利益	2,086,350	2,216,643
販売費及び一般管理費	2,202,648	2,191,472
営業利益又は営業損失(△)	△116,297	25,170
営業外収益		
受取利息	107	91
受取手数料	315	323
助成金収入	735	2,019
保険解約益	578	296
その他	1,044	1,751
営業外収益合計	2,781	4,482
営業外費用		
支払利息	1,718	3,224
その他	1	40
営業外費用合計	1,720	3,265
経常利益又は経常損失(△)	△115,236	26,387
特別損失		
減損損失	998	—
特別損失合計	998	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△116,235	26,387
法人税、住民税及び事業税	16,096	3,485
法人税等調整額	△20,399	11,899
法人税等合計	△4,302	15,385
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△111,932	11,002
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△111,932	11,002

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年9月1日 至 平成30年5月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△111,932	11,002
四半期包括利益	△111,932	11,002
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△111,932	11,002
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。